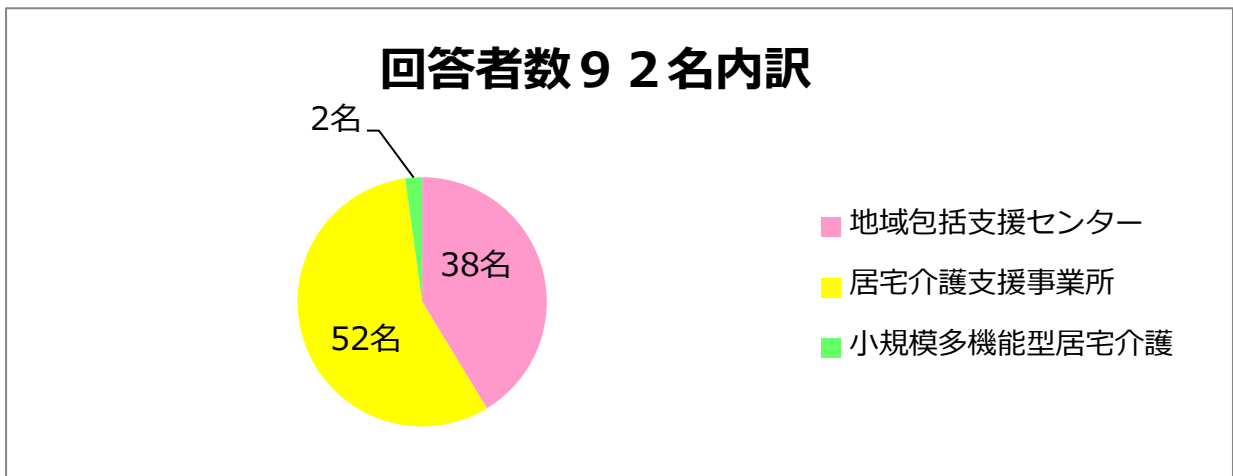


岐阜圏域 退院支援ルールアンケート結果

令和3年2月26日(金)

各務原市在宅医療・介護連携支援ステーション

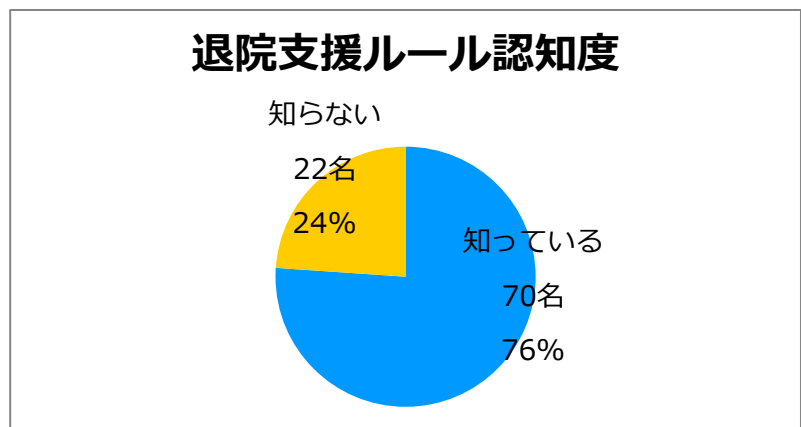
Q1：【回答者 所属事業所】 回答者 合計92名
内訳 地域包括支援センター 38名
居宅介護支援事業所 52名
小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能含む） 2名



事業所別	事業所数	人数	回答者数	回答率
各務原市地域包括支援センター	7ヶ所	38名	38名	100%
各務原市内居宅介護支援事業所	39カ所	129名	52名	40.3%
小規模多機能型居宅介護 (看護小規模多機能含む)	9ヶ所	9名	2名	22%

Q2：【岐阜医療圏 退院支援ルール】をご存じですか？

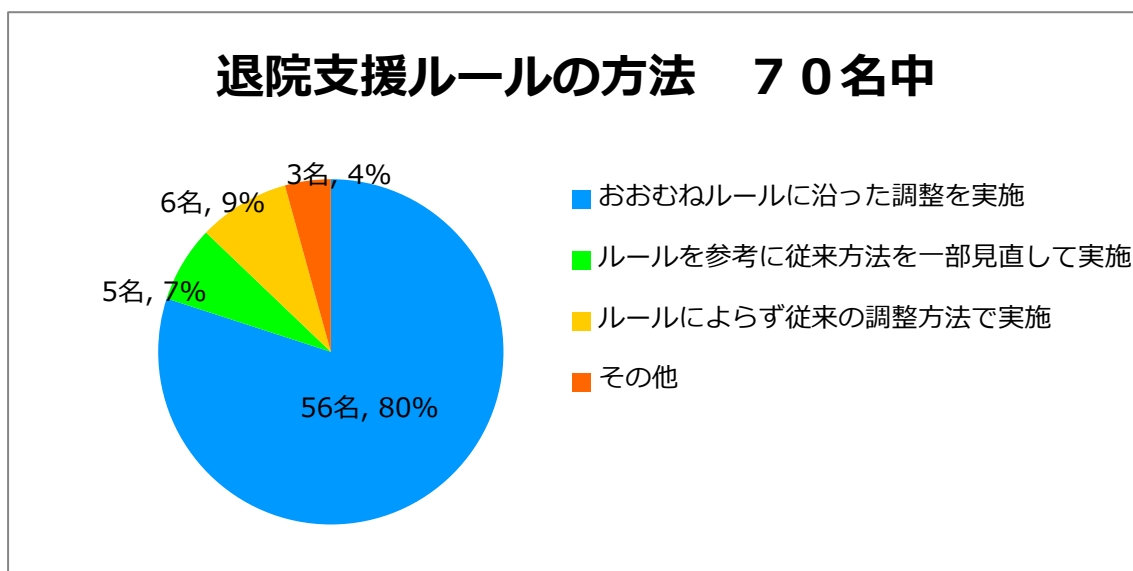
- 知っている 70名
- 知らない 22名



Q3 : Q2で退院支援ルールを「知っている」と回答された方のみへの問い

【入退院調整の方法について】 貴所の状況に近いもの（回答者数 70名）

- おおむねルールに沿った調整を実施 56名
- ルールを参考に従来方法を一部見直して実施 5名
- ルールによらず従来調整方法で実施 6名
- その他 3名



※その他（3名）のご意見

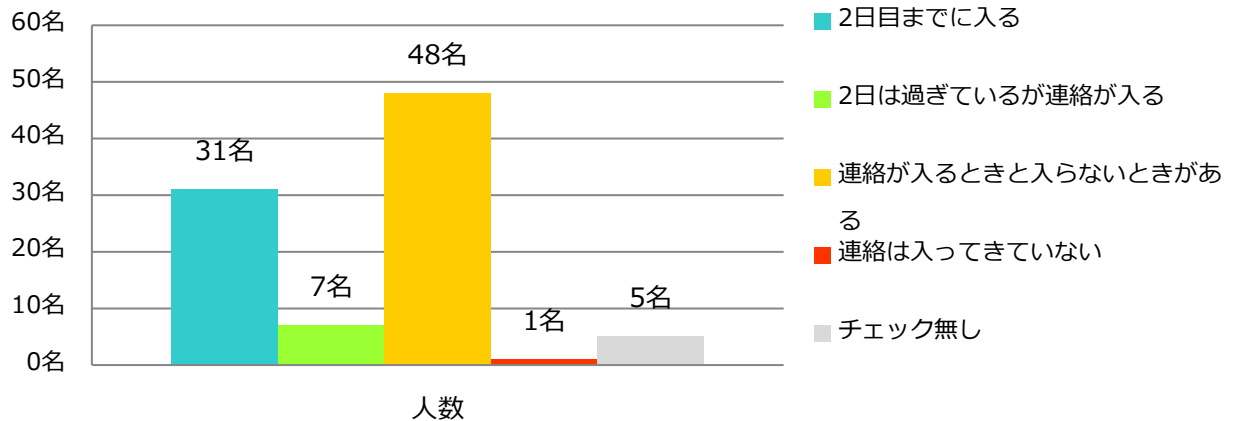
- ・利用登録者が少ないため、入退院調整の事例がない。
- ・担当利用者で入退院事例が無いため、実施したことがない。
- ・退院時にカンファレンスが必要な時は病院のワーカーより連絡をいただいている。書面では行っていないが、ワーカーと電話などで情報のやり取りを行っている。

Q4 : 【入院時の連絡について 1】 回答者数 92名中

①利用者（要介護・要支援とも）が入院した際に各病院からの入院連絡が入るか？

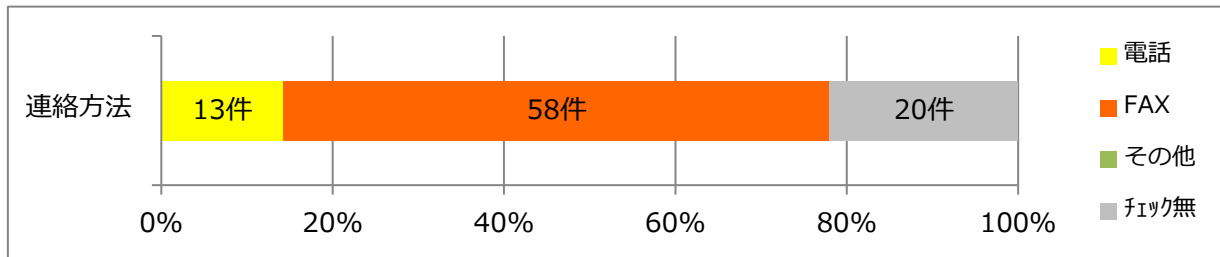
- 2日目までに入る 31名
- 2日は過ぎているが連絡が入る 7名
- 連絡が入るときと入らないときがある 48名
- 連絡は入ってきていない 1名
- チェック無し 5名

入院時の連絡について



②連絡があった方法（連絡なし1件をのぞく 90件）

●電話13件 ●FAX58件 ●その他0件 ●チェック無20件



③連絡が入らなかったケース詳細について（自由記載）

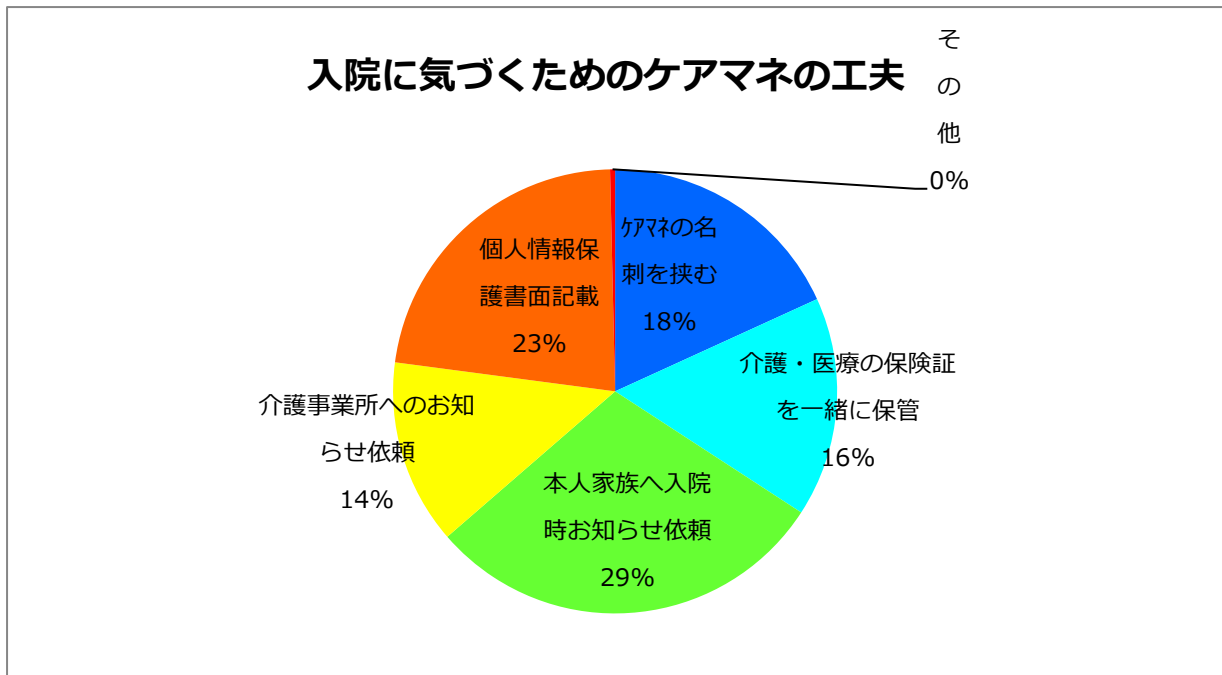
- ・家族から連絡が入った。2件
- ・在宅型有料老人ホームに入所されているケース。施設職員からは報告があり、入院自体は把握できていた。
- ・救急搬送後、FAXにて情報提供したが連絡がなかった。
- ・連絡が入らない病院がある。そのような病院はよほど困難ケースと病院側が判断したケースのみ連絡有。
- ・市外・県外の病院等では連絡が入らない。
- ・膀胱がんの切除術が5回目のケース。
- ・本人が病院担当者に担当包括がどこかということを伝えていない時。
- ・すぐに連絡頂く病院はあるが、連絡のない病院がある。4件。
- ・交通事故で入院されたが連絡はなく家族様も事故に遭われたため連絡なし。月末の訪問前の電話連絡で判明した。
- ・土日の入院時には連絡が入りません。
- ・週3回受診に行かれており、体調不良にて入院となったケース。
- ・事業所にFAXが入っても担当者が記入されていないとき、手に届くのが遅れることもあるので出来れば（判っているときは）事業所内の誰（担当者名）が欲しい。

- ・糖尿病のコントロールのための入院。
- ・肺炎で入院等。
- ・ここ最近の状況は、特定の病院からは連絡はくるが、他からの連絡はない。
- ・病院によっては連絡いただける時と入らない時があります。おそらく介護保険認定を受けているかいないかが不明のときと、本人・家族が誰が担当かわからない場合もあると思います。
- ・退院されてしまってから入院していたとわかるケースもある。
- ・必ず連絡をくれる病院と全く連絡のない病院がある。3件
- ・医療連携にて情報提供シートを送ったが退院の連絡も無い病院がある。
- ・こちらから情報提供しても退院時にも連絡がこない病院がある。
- ・状態悪化による入院にて連絡がなかった。
- ・FAXで連絡がある病院もあるが、家族から入院を聞き、情報をFAXしても調整無く退院される方もいる。
- ・担当利用者がまだ入院したことがない。
- ・軽い脳梗塞で入院したケース。ご本人からも病院からも入院の連絡がなく、デイケアが送迎に行き「出てこない」と連絡有、倒れている可能性があるため、本人家族へ何度も連絡して入院が分かった。
- ・胆管のつまり等で入院。家族から連絡が入り入院の把握は出来た。おそらくADLに変化が出る入院ではないため、病院から連絡がなかったと思われる。
- ・脳内出血で倒れ、入院した。夫から2日後に連絡有。症状が重篤で在宅調整というレベルではなかったためなのか？連絡なし。転院して入所となった。
- ・病院による。
- ・検査受診され、そのまま入院になっていた。
- ・包括側から先に病院へ連絡を入れた。
- ・緊急入院。家族連絡がなく、デイサービス等の欠席で事業者から連絡をもらう。
- ・軽度者になるほど連絡が入らないケースが多い。
- ・短期間の入院ケースが多い。(家族またはサービス事業所から連絡を受ける)

Q5：【入院時の連絡について2】※複数回答可のため、合計275件

ケアマネとして利用者の入院に気づくための工夫

- 利用者の介護保険証・健康保険証にケアマネ等の名刺を挟んでおく 50件
- 利用者へ介護保険証を健康保険証と一緒に保管するよう勧める 44件
- 本人、家族に入院が決まったらケアマネジャーに伝えるよう説明しておく 81件
- 介護サービス事業所へ入院に気づいたらケアマネジャーへ連絡するよう依頼 37件
- 個人情報の取り扱い書面にて入退院時の情報提供・情報共有について記載 62件
- その他1件(入院時のアセスメント項目に入れる。)



Q6：【入院時の連絡について3】 98件（複数回答されている方有）

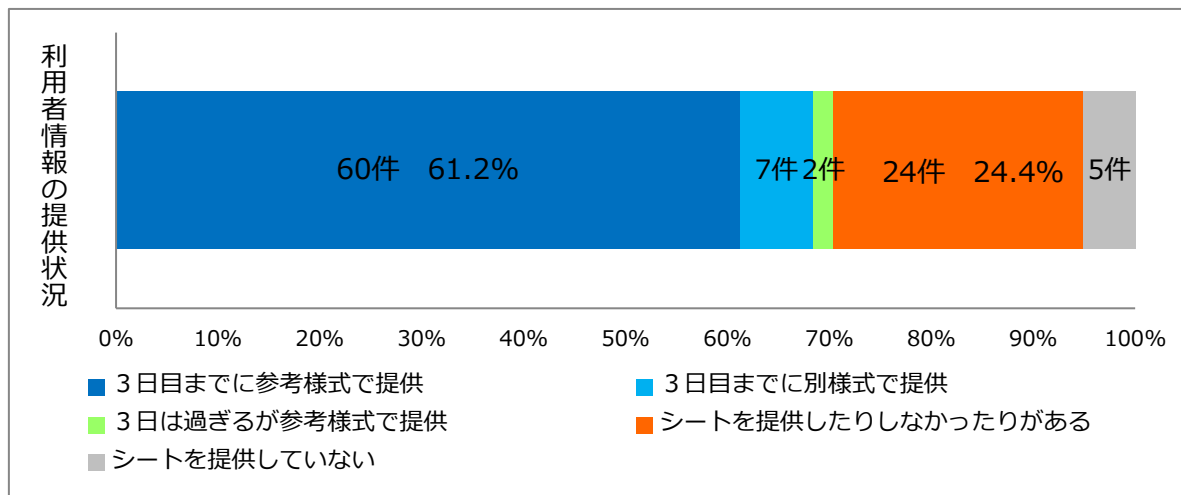
①利用者（要介護・要支援とも）の入院を知ってから可能な限り3日目までに「入院時情報提供シート等」により病院担当者へ利用者情報を提供していますか？

- 3日目までに岐阜圏域退院支援ルールの参考様式「入院時情報提供シート」を使用。60件
- 3日目までに別様式のシートを使って提供。7件

※別様式のシート名

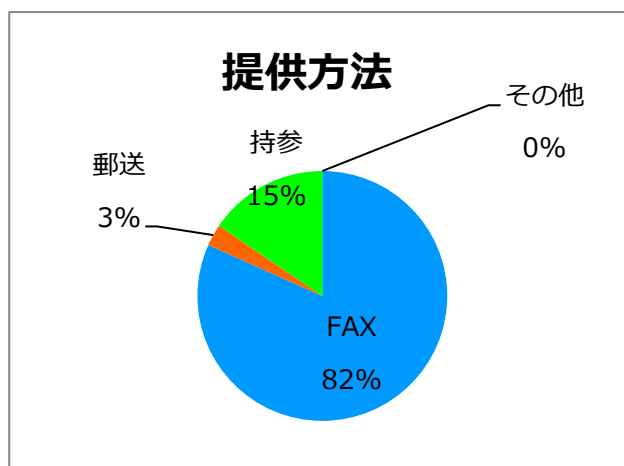
（菖蒲会、事業所内で作成した様式4件、ほのぼのNEXT、在宅連携用基本情報提供書Ⅰ）

- 3日は過ぎるが岐阜圏域退院支援ルールの参考様式「入院時情報提供シート」を使用。9件
- 3日は過ぎるが別様式のシートを使って提供。0件 ※別様式のシート名（無）
- 入院時情報提供シートを提供しているときと提供していないときがある。24件
- 提供していない。5件



②提供方法：複数回答可

●FAX	58件
●郵送	2件
●持参	11件
●その他	0件
計	71件



③提供していない理由（5名中 複数回答有）

- 提供することを知らなかった。2件
 - 病院からもお知らせがなく、入院したことを知らなかった。3件（以下複数回答可）
 - 提供する必要がないケースであると判断したため。2件
- ※提供しなかった詳細理由…記入無

④「提供しているときと提供していないとき」で「提供しなかったとき」の理由（複数回答可）

- 病院からのお知らせがなく、入院したことを知らなかった。15件
- 提供する必要がないケースであると判断したため。9件

※提供する必要がない理由の詳細（9名から記載有。その中で複数回答有。）

- ・入退院を短い間で繰り返し、すでに病院側と情報共有できている。3件
- ・短期間で入退院を繰り返している場合。4件
- ・検査入院の場合。7件
- ・退院後、半年以内に再入院。
- ・手術、処置などでご家族が説明や把握が出来る場合。

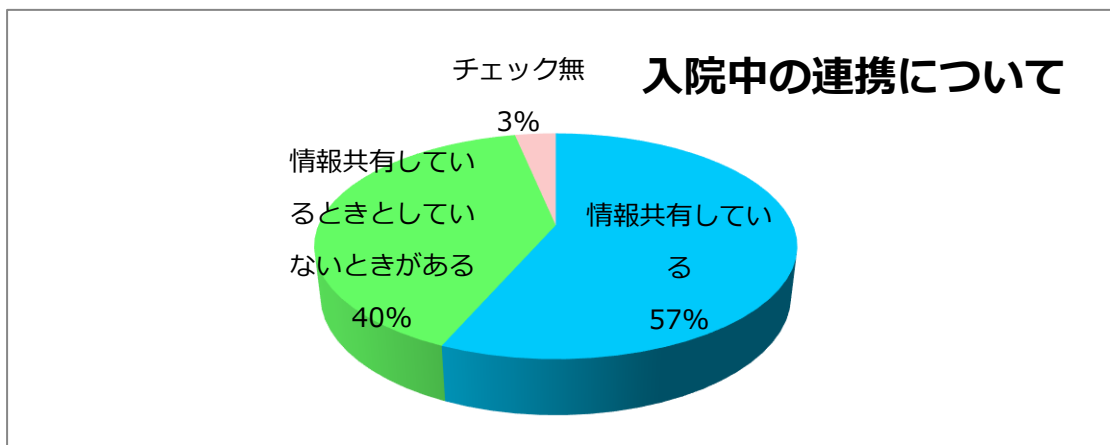
※その他の理由の詳細（9名から記載有。その中で複数回答有。）

- ・家族から入院したという報告が遅かった。2件
- ・土日や勤務が休み等の条件が重なり知るのが遅くなって提供が遅くなった事もある。
- ・知るのが遅かったうえに1週間程度の検査入院で有った等
- ・総合相談や実態把握調査で知り得た情報はどこまでお伝えしたらよいか。
- ・同意を得ていない場合。
- ・入院を知らないことが多い。連絡が有れば提供しています。
- ・些細な情報のみでシートに落としきれない場合は電話で情報提供する程度。
- ・提供することを忘れてしまう。
- ・FAXで連絡が来る病院には提供できますが、連絡がない病院へは提供していません。
- ・利用者が入院していないため。

Q7：【入院中の連携について】 回答者数 92 名中

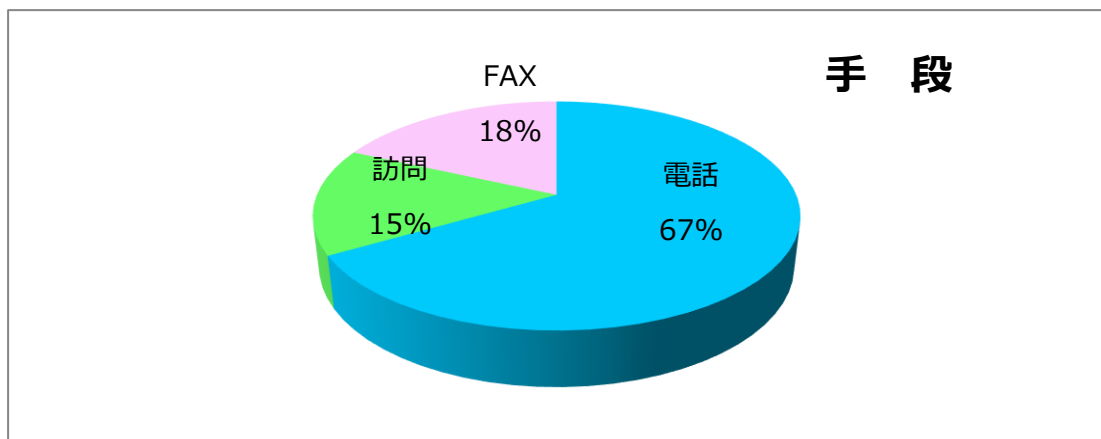
各病院担当者とケアマネジャーは入院期間の見込みや患者の状態等について入院時から退院日まで連携して情報共有していますか？

- 情報共有している 52 名
- 情報共有しているときとしていない時がある 37 名
- 情報共有していない 0 名
- チェック無 3 名



※情報共有しているときは、どのような手段で行っていますか？ 複数回答有：計 42 件

- 電話 84 件 □訪問 19 件 □FAX 23 件 □その他 0 件



※情報共有していない時は、どういったケースでしたか？（詳細記載：16 件）

- ・MSW から必ず退院前に連絡をいただける病院はあるが、知らせが来ない病院もある。
- ・短期間の入院で退院され、入院前と同様の生活に戻られた場合 3 件
- ・入院の連絡が無いと連携が取れない。家族から入院の連絡が入ればその病院に連絡するようにしている。必ず病院側から連絡が入る病院はあるが滅多に入らない病院もある。
- ・連携が取れる病院はあるが、連携の乏しい病院がある。知らない間に他のリハビリ病院に転院していたりした。
- ・元々連絡自体が少ない病院で特にご家族様がしっかり把握されているようなケースであ

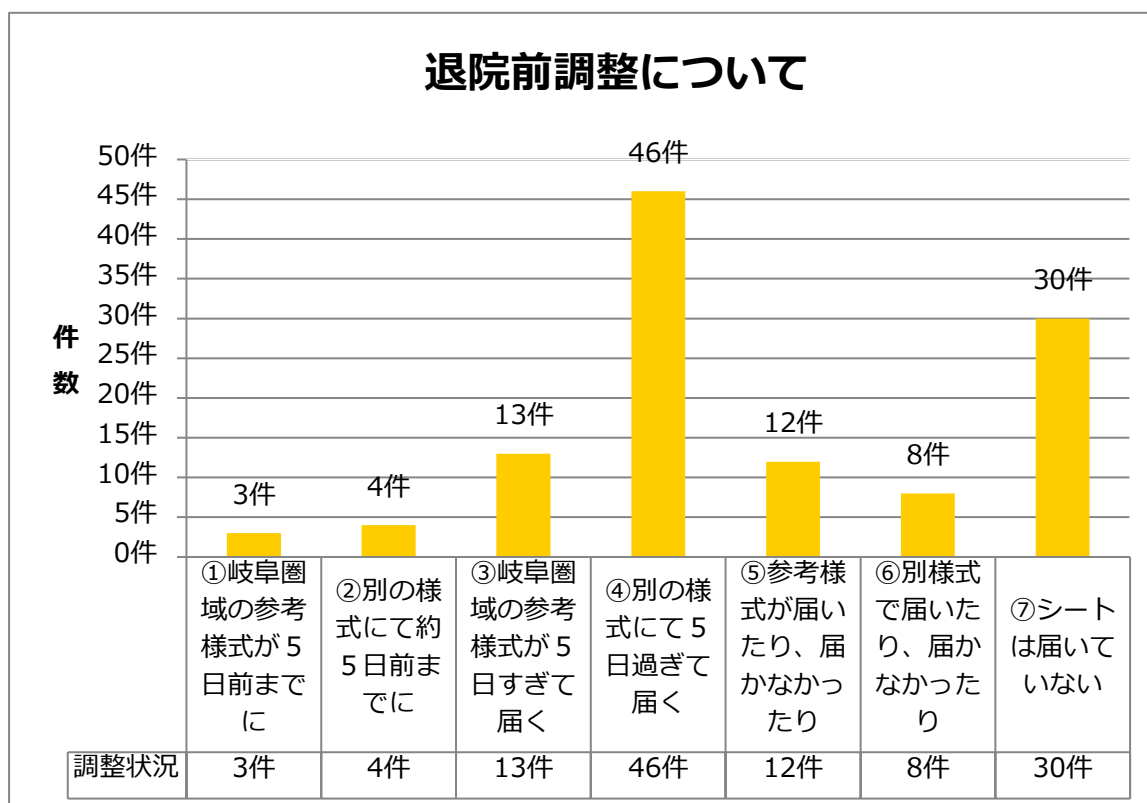
れば退院調整はなく、ご家族から状態を伺い、退院後の計画書をこちらで作成している。

- ・入院を知らずにいた場合。2件
 - ・検査入院 2件
 - ・特に問題ないと病院側で判断されるのか、全く連絡がこないケース。
 - ・ケアマネが電話で確認しないと連絡は来ない病院がある。
 - ・新型コロナによって約1年、通常業務が滞る状況で有り自由に訪問が出来なかった。
 - ・面会制限があり現場看護師から直接意見が聞けない。業務多忙を思い量り、電話し辛い。
- 4件

Q8：【退院前調整について 1】（複数回答されている方有）

退院前カンファレンスが実施される前に（退院日約5日前までに）退院支援情報提供シート等各病院側から送られてきていますか？

- ①岐阜圏域の参考様式である退院支援情報提供シートが退院日約5日前までに届いている。
- ②岐阜圏域の参考退院支援情報提供シートとは別の様式にて約5日前までに届いている。
- ③岐阜圏域の参考退院支援情報提供シートが退院日約5日前ではないが届いている。
- ④岐阜圏域の参考退院支援情報提供シートとは別の様式にて約5日前ではないが届いている。
- ⑤岐阜圏域の参考退院支援情報提供シートは届いていたり、届いていなかったりする。
- ⑥岐阜圏域の参考退院支援情報提供シートとは別の様式にて届いたり届いていなかったりする。
- ⑦特にシート等は何も届いていない。



※別の様式とは何が届いていますか？

- 看護サマリー 42件
- その他 4件（介護支援等連携指導書）

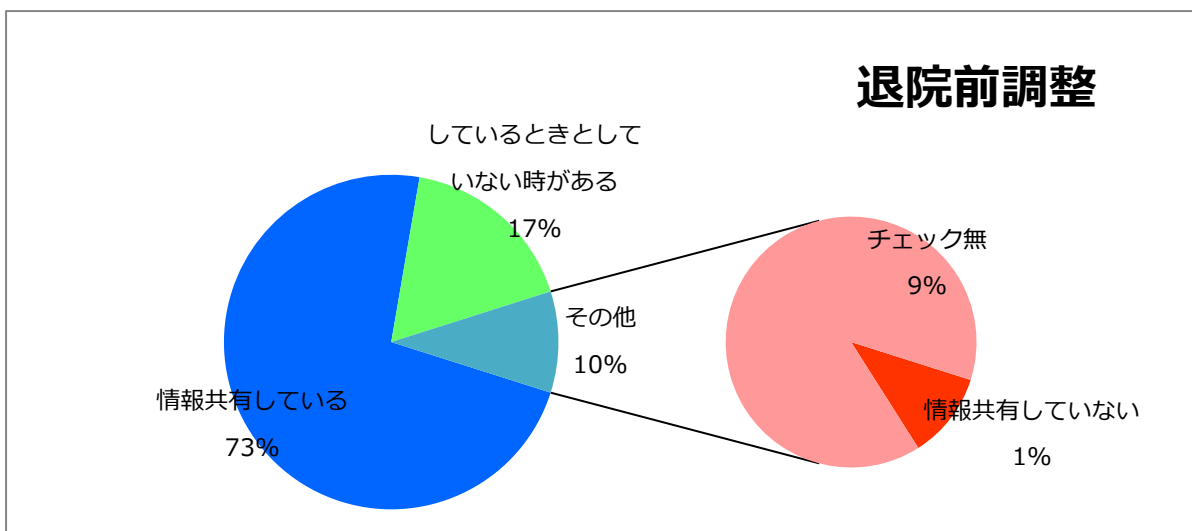
※届いてきていないケースはどのようなケースでしたか？（詳細：33件）

- ・カンファレンス時にまたは後日、看護サマリーをいただける。7件
- ・当日病院でいただくことが多い。3件
- ・今まで届いたことはありません。3件
- ・カンファレンス前に電話で情報共有しシートはカンファレンス当日に渡される。2件
- ・サマリー等は届きますが、「退院支援情報提供シート」は無いです。
- ・退院前カンファレンスに参加した時、中間の看護サマリーをいただける場合と何もいただけない場合がある。3件
- ・電話でのやりとりのみ。2件
- ・精神疾患で入院され、入院前とADLが変わらない。
- ・退院カンファレンスもなく退院し、数日後家族から連絡有。
- ・カンファレンスまでは電話。あるいはサマリー等途中経過の情報提供 3件
- ・当日、情報提供シートをいただくこともあれば、何もないときもある。
- ・カンファレンス前にいただくことが最近は多くなった。
- ・蜂窩織炎の影響で痛みを訴える。慢性心不全、糖尿、膝関節炎を患っている方の退院カンファレンスへの出席要請と在宅サービス調整の依頼があったケースで電話での事前情報提供があり、情報提供シートは特別もらっていない。
- ・退院カンファまでの日数がタイトで電話での情報提供の上、資料は当日にいただく。それで問題は無い。
- ・病院により、看護サマリーが届くときと依頼しないと情報提供が届かない場合がある。
- ・欲しいといえば確実に情報提供シートとサマリーを退院時に用意してくれる。退院時、利用者に渡されているケースがほとんどです。今はカンファレンスが開かれないので、ターミナルは早めに情報を送信していただきますが、猶予が全くないケースもあった。
- ・短期間の入院のケース。

Q9：【退院前調整について 2】 回答者数 92名中

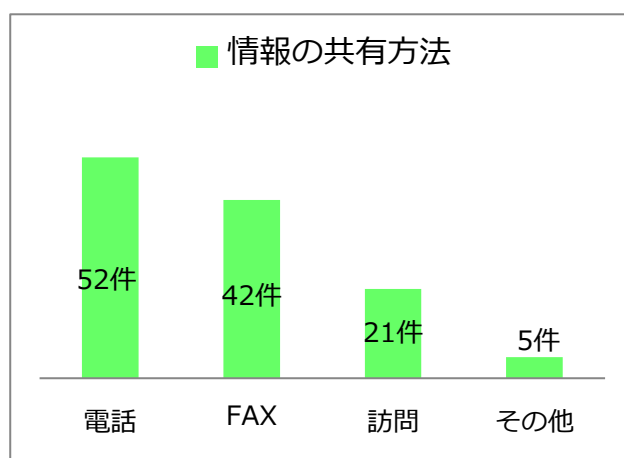
退院支援情報提供シート等を各病院側からケアマネジャーが受け取った後、関係する多職種へその情報を共有していますか？

- 情報共有している 67名
- 情報共有しているときとしていない時がある 16名
- 情報を共有していない 1名
- チェック無 8名



※情報の共有方法

- 電話 52件
- 訪問 21件
- FAX 42件
- その他 5件
(持参または封書)



※情報を共有していない時は、どういったケースでしたか？ (自由記載：7件)

- ・よほど退院前に事前に情報をいただくことはなく、退院後サマリーで確認する、退院カンファレンスにて情報を共有する、電話で情報を収集するといった形をとっている。電話などで情報がわかれば、それは各事業所へ書面や電話で共有している。
- ・サービス提供に大きく関わらない場合、情報共有していない。
- ・Q7と同じ。短期間入院で退院し、入院前と同様の生活に戻れた場合。
- ・シートをいただいたことがないため情報共有できない。
- ・福祉用具事業所等は電話で必要な情報のみを共有している。
- ・事前に病院SWが調整して退院カンファに望むため。
- ・福祉用具購入のみのケース

Q10：退院支援ルールにおいて、改善した方がよい点 (自由記載)

- ・県内病院で統一されていないように感じる。
- ・家族からの説明で入院期間や病名(なぜ入院か?) 違う時があり、その点が電話やFAXで病名、入院期間を教えてもらえるとよい。
- ・退院時に利用者様経由でサマリーをいただいておりますが、もう少し早いと助かります。

- ・退院時カンファレンスや退院日を早めに教えていただきたい。
- ・転院したときにケアマネへ連絡されないことが多いので、一度見直してほしい。(入院中の連携) ケアマネから連絡を入れると、すでに転院していたケースがあった。
- ・入退院時情報シートの送信状 (FAX) についても統一様式としてほしい。
- ・入院時情報連携の加算を算定するために病院から受け取りの証明が必要になるが、より確実に受け取りの証明を得るために様式が統一されればよいと思う。
- ・ルールとしてはおおむねこのままでよいと思っている。各ケースについて退院許可が下りてから退院まで、もう少し余裕があれば良かったと後で思うことはある。介護認定が下りていない場合、包括支援センターが当初関わるが、要介護の予測がつく場合には最初から介護支援専門員が関わっていたらよかったと思うこともある。
- ・病院によって対応に差があるが、利用者の状態を見て必要な対応ができればよいと考えます。
- ・県内の病院全てで書式を揃えるようにしたほうがよい。少なくとも、地域の代表的な病院は揃えれば良いと思う。
- ・退院後の在宅サービスの調整やサービス事業所への連携等の必要性があるので、退院の連絡は最低欲しいです。
- ・検査で1～2日程度の入院でも情報提供のFAXがくることがある。検査入院での情報提供は必要なのか。
- ・冊子の部数が少なく、ほとんど手元に届いていないと思います。(研修会に参加した居宅介護支援事業所へ1冊ずつ、地域包括へは基本ゼロ) もし改訂する予定があるなら、今度こそ部数を多くするか、もしくはPDFファイル等を公開するかの方が良いと思います。
- ・情報を入院時等、3か月までにFAXで送付しておりますが、個人情報満載であるのにFAXで送るといのはいかなものかと考えさせられる。封書であると3日目までに届かないかもしれない。FAXは便利ではあるが、個人情報についてもう少し考えたいと思います。
- ・独居の方で病院内でのADLが問題ないと申請して退院する場合があるが、家では全く動かず再入院になったり、アセスメントしきれなかったことに申し訳なく思う。本人は在宅を望むが在宅では無理な場合の方向性がむづかしいと感じている。
- ・入職したばかりでわからないのが現状ですが、入院時情報提供シートを見る限り、義歯や食事形態等はケアマネでは細かい部分までわかりにくいと思いますが…。
- ・特になし。求めのあった時にしか活用したことが無かった為、今後は活用したいと思っています。
- ・コロナ禍で今は上手くいかない。情報が少なく、病院によって偏りがある。
- ・介護認定のない方に退院調整段階で介護保険新規申請の案内をされると思います。高齢者の相談窓口は包括ですが、明らかに要介護の場合はMSWにて居宅につないで頂いたほうが本人、家族にとっても負担が少ないと思います。
- ・連携の為に医療介護双方で情報提供を行い、支援に結び付けていくことは大切なことと思

ます。医療・介護（居宅）連携強化のために加算算定の仕組みがあります。要支援者、事業対象者の方には加算はありません。（委託にいるケースなど）介護と同様に連携すべきと思いますが…。課題を感じます。

- ・コロナ禍のため、提案し難いです。
- ・入院をされたら FAX が届くため、とてもありがたいです。ご家族から TEL が来る前に FAX をいただくこともあるので、スピーディーに対応できるため、ありがたい。
- ・以前と比べてもルールができてから入退院時の連携がスムーズになってよいと思います。自分もあまり細かいルールまで把握していませんが、このままでよいと思います。ただ、退院支援情報シートについては看護サマリーでも良いと思いますし、ケースバイケースで様式を使い分けてもいいかもしれません。

Q11：その他、各病院との調整で何かご意見がありましたら教えてください。

- ・だいたいやり取りする病院が決まっている。その病院の相談員とは情報共有等やりとりは比較的密であるが、あまり付き合いのない病院の相談員とのやりとりに比べて差を感じる。
- ・当事業所は利用者登録者が少なく、入院された事例がないため「退院支援ルール」について知っていますが、実際にルールに沿った支援をしたことはありません。ただ、今後利用者が入院した場合は「退院支援ルール」に沿って行っていきます。現在の利用者の中には、入院には至りませんが、救急搬送されるケースは多々あります。救急搬送されたことは、ご家族様から連絡があり、周知することができます。また診断結果についてはご家族様からや、当方から病院へ連絡を入れて周知しています。しかし今後、入院ケースが生じた場合病院側から入院した経緯や診断結果について簡単に情報を提供していただくと今後の支援に繋がっていくことができます。例えば「入院経緯情報提供シート」等にて。ご家族様は混乱していて正確な情報を得ることが難しいからです。
- ・入院時から担当の SW、看護師と情報交換をすることでスムーズに連携が来ています。
- ・転院時の情報について…入院時にケアマネから情報提供させていただいた在宅の情報は、転院先の MSW に引き継ぎ、情報提供されていると思いますが、連携のために転院先に再度同じものを情報提供したほうが良いですか。
- ・入院時から担当の SW、看護師と情報提供をすることでスムーズに連携できている。しかし、本人・家族に連携をとる体制になっていることを理解していただき、情報共有することに了解を得ておく必要がある。包括によくある相談は新規の家族から入院してすぐの医師からの説明を聞き、介護保険の認定申請、住宅改修が必要、デイサービスで入浴介助してほしい等という内容である。入院中は相談員の方に相談してくださいと伝えていきます。本人・家族の不安により沿って支援できるようにお互いに連携が取れるようにしていきたいです。
- ・退院支援に沿って各病院がしっかりされているか確認してほしい。病院によってばらつきが

ありすぎる。ケアマネも退院後のケアプラン提出を忘れてしまうこともあるので気をつけて連携を密にしていきたい。

- ・病院 MSW と介護支援専門員が情報・意見を交換する場（研修会等）があれば良いと思う。
- ・病院での退院カンファレンス等、出来ましたら要点を絞って1時間以内で終わってほしい。色々考えることも多くあると思いますし、ケースによっては時間のかかることもあると思いますが、できるだけ短時間でお願いしたいです。
- ・現在、コロナ禍であることから、連携は必要ですが、なるべく FAX や電話で済むことはそのような対応を希望します。
- ・ルールができて、とても丁寧に連携が取れるようになってきている。
- ・個人情報の関係で、なかなか教えてもらえないこともあり、必要な情報をどう共有すればよいか、悩むことがある。
- ・病院によって調整が円滑に行えるか、かなり差があります。A病院は入退院の連絡、家族との調整、状態の把握や退院後の展望等しっかり共有や調整をされている。B病院は連絡をいただくことはないです。家族から「退院と言われた」「病院と話が全然できていないのに」と苦情が入ることがありますし、病院側と家族とで認識が違う等家族への説明や連絡がうまくできていない印象があります。サービス調整がされず、退院しており、後から患者から「困っている」と相談が入ることもあります。もう少し、家族との調整や説明をしっかりとしてほしいです。また主治医意見書の提出が遅い。2か月も来ず、何度も病院に問い合わせたこともあります。認定がなかなか下りず、困りました。電話してもたらい回しに合うので担当の所在を明らかにしてほしいです。
- ・支援か介護か、不明な状況で包括に声がかかりカンファ参加→サービス調整→退院後に要介護が出てケアマネさんへ引き継ぐというケースがよくある。包括としては対応できるのだけれど、ケアマネにとっては「カンファから参加したかった」となるのではないかなと思う。包括のほうも時間がなく居宅ケアマネにまで声をかけられないことが多いが「支援かもしれないけれど引き受けてくれる」という居宅と一緒に動くことができると一番良いと思う。（ガン末期の方など）
- ・市の福祉サービス（配食サービス等）の要件について安易に「使える」と案内されると誤解される場合があるため、きちんと把握していただくとありがたいです。
- ・自分は包括なので加算の関わりがない分、退院支援ルールをざっくり知っていても細かいところは理解不足のところもありました。
- ・新型コロナの影響で思うようにはいきませんが、今一度事業所内で入退院支援ルールについて話し合っていきたいと思います。